

平成 25 年 4 月以降の深沢多目的スポーツ広場利用についての陳情

1. 陳情の要旨

平成25年4月から、深沢地区の再開発が始まる為、「深沢多目的スポーツ広場」が使えなくなります。毎週日曜日に当スポーツ広場を練習・試合グラウンドとして使用している鎌倉ラグビースクールにとっては活動拠点がなくなり、創設38年を誇る伝統あるラグビースクールの存続が危うい事態となります。
 由って、「深沢多目的スポーツ広場」の代替地を準備して頂きたく陳情申し上げます。

2. 陳情の理由

神奈川県下で 3 番目に歴史のある鎌倉ラグビースクールは 1975 年創設以来、今年で 38 年を迎えます。次世代を担う“強く・正しく・明るい”子供達の育成をモットーに、これまで巣立った生徒は約 250 名を誇り、地域社会に根ざしたボランティア活動を推進しております。

現在、生徒数 161 名、コーチ 56 名を擁し、2016 年のリオデジャネイロ五輪で正式種目として採用された「7 人制ラグビー」、2019 年日本で開催予定の「ラグビーワールドカップ」出場を目指して、優秀な子供達を育成しています。鎌倉ラグビースクールが毎週使用している「深沢多目的スポーツ広場」は平成 25 年 3 月までの暫定利用となっております。同広場は鎌倉市で唯一の十分な広さのある天然芝のグラウンドであり、深沢地区の再開発が始まる事により平成 25 年 4 月以降の活動拠点となる練習・試合用グラウンドがなくなる事態に陥ります。

市内小中学校のグラウンドは他スポーツ団体の利用で鎌倉ラグビースクールが利用できる余地はほとんどなく、また、仮に利用できる機会があるとしても、土のグラウンドによるケガが増える等、ラグビーには不向きであることは明らかです。

以上を鑑みると、平成 25 年 4 月以降に深沢多目的スポーツ広場の代替地を確保出来なければ、鎌倉ラグビースクールの存続が極めて危うい事態となります。

かかる状況下、鎌倉ラグビースクールの活動が安定的に可能となり、これまで同様、地域社会に根ざしたボランティア活動が行えるよう、ここに陳情を行うに至りました。

以上

平成23 年 月 日

提出者 鎌倉市鎌倉山4丁目10番6号
 鎌倉ラグビースクール
 代表 中谷 旭

鎌倉市議会議長 伊 東 正 博 様

	氏 名	住 所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

	氏 名	住 所
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		
50		